

千葉市

手をつなぐ育成会だより

第 166 号

令和4年(2022)3月10日
千葉市手をつなぐ育成会

会長 成田 智子
千葉市稲毛区作草部2-4-5
でい・さくさべ 2階
TEL・FAX 043-206-4050
✉ chibacity-hands@ikusei-kai.jp

障害者基幹相談支援センターって?



6 区の基幹相談支援センター

- 稻毛区基幹相談支援センター
043-254-0671
- 中央区基幹相談支援センター
043-445-7733
- 花見川区基幹相談支援センター
043-239-6427
- 若葉区基幹相談支援センター
043-312-2853
- 緑区基幹相談支援センター
043-310-5532
- 美浜区基幹相談支援センター
043-304-5454

昨年11月16日(火)、稲毛区障害者基幹相談支援センター所長染谷英樹氏を講師としてお招きし、千葉市6区に令和2年10月に開設された「障害者基幹相談支援センター」についてお話を伺いました。

千葉市の相談支援事業がどうがどう変わったのか、どう変わっていくのか、を分かりやすく説明いただきました。

今までの千葉市の相談支援体制は、障害種別や年齢は問わず、広く相談を受ける総合相談窓口で管轄区域は千葉市全体でした。

基幹相談支援センター(以降

がどう変わったのか、どう変わっていくのか、を分かりやすく説明いただきました。

今までの千葉市の相談支援体制は、障害種別や年齢は問わず、広く相談を受ける総合相談窓口で管轄区域は千葉市全体でした。

基幹相談支援センター(以降

基幹センター)は、障害者総合支援法に基づき、地域における相談支援の中核的役割を担う機関として、千葉市が委託した支援センターについてお話を伺いました。

【支援に繋げるために】

基幹センターが開設されたことにより、障害の種別に関係なく、居住区の事業所に相談する

ことができ、相談員、関係各所と連携を取り、次の支援に繋げていくことが出来るようになります。

基幹センターの職員配置は各区の人口に応じており、稲毛区では相談員4人(保育士や社会福祉士、精神保健士など専門性

オンラインセミナー

親子ウォーキング



当

日は天気にも恵まれ、未就学児～中学生までの親子7組・

息子を含む中学生組は大宮学園で同じ時期を過ごした仲間たち。直接会話をすることはありましたが、「知った顔がいるな」とお互いに安心している様子でした。コロナ禍でリモートでの

こども委員会の親子ウォーキングが稲毛海浜公園にて開催されました。

昨年12月12日(日)、こども委員会の親子ウォーキングが稲毛海浜公園にて開催されました。

当日は天気にも恵まれ、未就学児～中学生までの親子7組・

息子を含む中学生組は大宮学園で同じ時期を過ごした仲間たち。直接会話をすることはありましたが、「知った顔がいるな」とお互いに安心している様子でした。コロナ禍でリモートでの

ある職員)と事務員1人にて運営されています。そして、稲毛

具体的な事例を4件紹介いたしました。

初めてのZOOMによる研修

会で、戸惑うこと多かつたですが、会員の皆様と繋がることの大切さを改めて感じました。今回の経験を来年度以降の研修会に活かしていきたいと思いま

す。

(研修部 神山)

活動に気楽さを覚えていましたが、実際に会つてお話しをしたり、子供たちの成長を見ることの良さも改めて感じました。

(こども委員会 中台)



成年後見制度利用促進法の「中核機関」とは

いざれ
子どもは
自立する

県内では20か所。千葉市はH30年に設置済みで、体制整備を進めているところと聞いています。

後見支援は自立支援

昨年11月9日(火) 稲毛区保健福祉センターで、成年後見制度利用促進法にまつわるミニ勉強会を行いました。

企画の発端は利用促進法に定められた利用促進基本計画。計画の中にある「中核機関」を知る。プラス、いつ、何をきっかけにわが子に後見人をつけるかを知るために行いました。解説をしてくださったのは、成年後見センター「しぐなるあいづ」(松戸)の泉幸江さん。

制度に福祉の要素が入った

成年後見制度を使いややすくするために、厚労省が利用促進法を施行(H18)。これに、福祉の要素(中核機関の設置)が盛り込まれました。ここでは、地域の見過ごせないケースの調査・評価を行い、後見人が必要かほかの手立てなどを合議します。身近な相談場所ができる、実効性のあるものになるかが肝と泉さん。

ちなみに中核機関が設置されたのは泉さん。
（会員 久保田）

PAC—Gには通称「PAC女子会」という研修グループがあります。このテーマに長いこと取り組んでいます。今年度から成田会長、大里副会長が加わりました。今までの情報蓄積を開き立しました。お二人がこの場を貴重な機会ととらえ、ほかの副会長さんも参加されました。

対面の研修が可能になつたら、皆さんで共有したいテーマだと思っていま

続いて、後見料にまつわる認識違いや、後見人は選択肢の一つなどのお話をありました。うちの子に後見人は必要か。いつ付ける? 候補者と親との関係などを聞きながら、わが子に照らした助言をいただきました。

後見支援は自立支援。本人にお金の管理をさせなければ、お小遣いをもらうところから抜けだせないと言われてみればその通りと、深く頷く人もいます。

育成会のうごき 11月～2月

11月10日	第3回千葉市新基本計画審議会
11日	第47回千葉市特別支援教育推進大会(旧 特別支援教育振興大会)・書面開催
15日	千葉市障害者施策推進協議会
15日	千葉市障害者差別解消支援部会
16日	研修会「障害者基幹相談支援センターって」・オンライン(P.1)
18日	第4回千葉市新基本計画審議会
29日	関東甲信越ブロックオンライン代表者会議
12月4日	千葉市福祉大会
6日	啓発キャラバン隊「ららら」見学
9日	稲毛区まち歩きワークショップ意見交換会
13日	福祉講話見学(視覚障害)
14日	福祉講話見学(肢体障害)
23日	第5回千葉市新基本計画審議会
24日	法人理事会
1月20日	第6回千葉市新基本計画審議会
26日	千葉県育成会権利擁護委員会
2月1日	第7回千葉市バリアフリー基本構想推進協議会
15日	第7回千葉市新基本計画審議会
16日	関東甲信越ブロックオンライン代表者会議
2月下旬	「全育連」令和2・3年度全国大会代替式典 YouTube配信+DVD

*ホームページ URL <https://ikusei-kai.jp/>
随時更新しています。ぜひご覧ください。



◆は15歳の誕生日を迎えた妹は、いつも通りの日々を送っています。春からは高校生。様々なことに挑戦して楽しい高校生活を送ってほしいと思っています。（齊藤）

◆はたらく委員会でZoomお話し会を親子参加でやつてみました。子ども達は恥ずかしがつたりしてなかなか顔を出してはくれませんでしたが、太鼓の練習風景を紹介してくれたり、元気な様子を見ることができました。早くまた会えるといいでですね。

（竹村）